

「紙と印刷というものについて、そしてデザインへの眼差し。」

グラフィックデザインの歴史は、けっして長いものではありません。例えば、バウハウスでの美術労働教育の始まりをデザインとするなら、1919年、が始まりという事になります。印刷は1445年に、ヨハネス・グーテンベルクが活版印刷を開発した、とされています。まず、この400年以上にもよるブランクをどう埋めればいいのかでありましょうか。日本においては、ウイリアム・ギャンプルによって明朝体が齎されたタイミングを印刷元年とするなら、1869年（本木昌造が招致したのが）となります。果たして、このような、たかだか100年を少し越えたぐらいの短い時間の中で、日本人がグラフィックデザインで印刷を語る事は可能でしょうか。

原初としてのグラフィックデザイン的なものは恐らく日本にもあったでしょう。しかし、印刷と呼ばれグラフィックデザインとされたように、命名されたものは無かったのではないのでしょうか。バウハウスが生まれたのが、ドイツである理由は、製造業が盛んな事が大きな要因にある事は容易に想像が出来ます。その上での陸続きの多様化された文化としてのヨーロッパが、今日に至るデザインを形成しているのだと考えています。それでは私達は日本で何を作っているのでしょうか。デザイナーと呼ばれている人達は何を従えて制作に動んでいるのでしょうか。もし、紙が誕生した2000年以上前から始まる、これらに纏わる製造の歴史の中で、グラフィックデザインというものを見据えるのであれば、果たして、私達はどれほどのものを携えながらグラフィックデザインというものに接しているのでしょうか。

今、日本において、印刷という技術に最も精通していて、影響力の大きい第三者の存在は「グラフィックデザイナー」です。しかし、現在、そうであるはずのグラフィックデザイナーにも1つの問題が浮上しています。それは、印刷を知らない事です。印刷を司るポジションに居るはずのグラフィックデザイナーが印刷について不勉強な状況が発生し始めたのです。これは、推測ではありますが、想像していたよりも、印刷の現場にデザイナーという存在が関わっていなかった事を示唆しており、マッキントッシュやアドビに関連するDTPの環境がグローバル化した時に、海外と日本の状況に最初に述べた

圧倒的な時間を含めた様々な誤差が生じたのでは、と想像しています。

その中で、同時に近年、印刷の技術を補完する動きが活発になってきました。しかもそれは、ほとんどの場合が「グラフィックデザイナー」を対象としているものであり、「グラフィックデザイナー」自身がそれを必要としている現実が其処にあります。「デザイン」とは何か、なんて事を問うような無粋な真似はしませんが、今、印刷というものにどう関わっているのか、というものを、デザイナーに限らず示す事は今日において非常に重要であると考えています。紙と印刷という組み合わせを、どのように扱っているのか、その善き例を知っているのは、「グラフィックデザイナー」に限らないという決定的な証拠と、同時に、より印刷をウマク使っているのが「グラフィックデザイナー」である、という実証を得られた事は、今回の展示での大きな成果であったように思います。

本展では、かつてあった「ウィーン分離派」の動きに似た様相を、今回、出品したメンバーから感じており、「グラフィックデザイン」というものを様式化した場合に、それから脱却した制作や、それを謳歌している制作など、様々な結果を得る事が出来ました。これらを意識して制作しているという事は、少なからず思想や様式的な何かとして、かつての「グラフィックデザイン」をある距離感を置いて見ているものであるのと同時に、印刷に対して、どのような眼差しで見ているか、という点において、全体的な総評として、しっかりと「技術」に依存する形で落とし込んでいる事は、日本においての「グラフィックデザイン」が、まさに生まれようとしているのでは、という大きな期待と、今までの「グラフィックデザイン」としていたものに対する、一種の決別のようなものがあるように感じました。もしくは、本展が紙や印刷に対する、なんらかの歴史的な意味を持つ事になるのであれば、この動きが、これから続くであろうデザイン史の1つとして、刻まれる事を強く願っています。

## 展 示 印 刷 物 仕 様 目 録

# P R I N T P U B 0 1

## こ と の は

CREDIT:design- 長田年伸

PAPER: しこくてんれい - しろ - 四六判 T 目 180kg

PRINTING TYPE: 箔押し仕上げ

PROCESSING PLACE: 有限会社 コスモテック ( [http://blog.livedoor.jp/cosmotech\\_no1/](http://blog.livedoor.jp/cosmotech_no1/) )

## 仕 上 り 枚 数 早 見 表

CREDIT:design-Goat Graphics- 竹田正典 ( <http://www.goatgraphics.net> )

PAPER: 新奉書風 - しろ - 四六判 Y 目 70kg

PRINTING TYPE: オフセット印刷

PROCESSING PLACE: 精光堂文房具店 ( <http://www.seiko-do.net> )

## 痕 跡

CREDIT:design-NSSGRAPHICA- 町田宗弘 ( <http://www.nssgraphica.com> )

PAPER: ハイメノウ - ブレーン - 四六判 Y 目 64.5kg

PRINTING TYPE: 箔押し／型抜き仕上げ

PROCESSING PLACE: 有限会社 コスモテック ( [http://blog.livedoor.jp/cosmotech\\_no1/](http://blog.livedoor.jp/cosmotech_no1/) )

## R o m a n C a r d

CREDIT:design-O-PUB( 若井真／竹田正典／野田久美子／宮崎菜通子 )

PAPER: 新シェルリン N- ブレーン - 四六判 Y 目 180kg ／フリッター - ブラック - 四六判 Y 目 180kg ／ハーフエア - ヘンブ - 四六判 Y 目 180kg

PRINTING TYPE: デボス／3次元浮きだし／型抜き／レーザーカット／プロセス3+特色1(蛍光ピンク)／折り

PROCESSING PLACE: 東北紙業社／有限会社 篠原紙工 ( <http://www.s-shiko.co.jp> ) ／リスマチック ( <http://www.lithmatic.co.jp> )

## 朔 望

CREDIT:design- 野田久美子 ( <http://www.nodakumiko.com> )

PAPER: ピアンコネロ - ピアンコ - 四六判 Y 目 130kg ／ピアンコネロ - ネロ - 四六判 Y 目 130kg

PRINTING TYPE: 箔押し／型抜き仕上げ

PROCESSING PLACE: 有限会社 コスモテック ( [http://blog.livedoor.jp/cosmotech\\_no1/](http://blog.livedoor.jp/cosmotech_no1/) )

## P I L E

CREDIT:design-circle-d- 丸山晶崇 ( <http://www.circle-d.me> )

PAPER: Mag- ブレーン - 四六判 Y 目 73kg ／ブンベル - クラフト - 四六判 Y 目 75kg

PRINTING TYPE: オフセット印刷

PROCESSING PLACE: 株式会社 山田写真製版所

## P R I N T P U B O I P O S T E R

CREDIT:design- 小熊千佳子 ( <http://www.chikako-oguma.com> )

PAPER: 片艶晒しクラフト

PRINTING TYPE: いいかげん折り／オフセット印刷

PROCESSING PLACE: 有限会社 篠原紙工 ( <http://www.s-shiko.co.jp/> ) ／株式会社 賢工製版 ( <http://www.ken-ko.jp/> )

## ひ と つ ひ と つ 照 ら す よ う に

CREDIT:design- 西田優子 ( <http://yuransen.net> ) ／ artwork-\*1

PAPER: まんだら - かきしぶ - 四六判 Y 目 薄口

PRINTING TYPE: ろうびき／デボス／折り筋入れ／型抜き仕上げ

PROCESSING PLACE: 有限会社 コスモテック ( [http://blog.livedoor.jp/cosmotech\\_no1/](http://blog.livedoor.jp/cosmotech_no1/) )

## S y m b o l s o f I l l u m i n a t i o n a t m i d n i g h t , S y m b o l s o f I l l u m i n a t i o n # 2 , G e o m e t r y W a l l p a p e r

CREDIT:artwork- 松本るみ子 ( <http://rumim.org> )

PAPER: ディープマット - スコールグレー - 四六判 Y 目 100kg ／まんだら - きなり - 四六判 Y 目薄口／ブンベル - ソイル - 四六判 Y 目 55kg

PRINTING TYPE: オフセット印刷／活版印刷

PROCESSING PLACE: 精光堂文房具店 ( <http://www.seiko-do.net> ) ／明晃印刷株式会社 ( <http://meiko-print.co.jp> )

## H E A R T B A D G E

CREDIT:design- 小玉文 ( [codama@bullet-inc.jp](mailto:codama@bullet-inc.jp) )

PAPER: ディープマット - ボルドー - 四六判 Y 目 450kg ／ディープマット - アッシュ - 四六判 Y 目 450kg

PRINTING TYPE: レーザーカット／箔押し

PROCESSING PLACE: 有限会社 篠原紙工 ( <http://www.s-shiko.co.jp> ) ／有限会社 コスモテック ( [http://blog.livedoor.jp/cosmotech\\_no1/](http://blog.livedoor.jp/cosmotech_no1/) )

## L a v e n d e r P i l l o w 楽 譜 & カ ー ド

CREDIT:music-Mujika Easel( <http://lavepi.com> ) ／ design- 松本るみ子 ( <http://rumim.org> )

PAPER: ボルカ - メレンゲ - 四六判 Y 目 90kg ／エコラシャ - ぎんねず - 四六判 Y 目 100kg

PRINTING TYPE: オフセット印刷

PROCESSING PLACE: 精光堂文房具店 ( <http://www.seiko-do.net> )

## t e x t u r e w a l l

CREDIT:design- 特撮ギター研究所 - 三輪一樹 ( <http://www.miwakazuki.jp> )

PAPER: エスプリ C- 四六判 T 目 180kg

PRINTING TYPE: オフセット印刷

PROCESSING PLACE: グラフィック ( <http://www.graphic.jp> )

## 水 中 花 i i

CREDIT:artwork-phobia- 勝田麻子 ( <http://phobiaworks.com> )

PAPER: エコラシャ - しろ - 四六判 Y 目 180kg

PRINTING TYPE: 箔押し／型抜き仕上げ

PROCESSING PLACE: 有限会社 コスモテック ( [http://blog.livedoor.jp/cosmotech\\_no1/](http://blog.livedoor.jp/cosmotech_no1/) )

## モ ッ フ モ フ

CREDIT:design-fengfeeldesign- 阪口哲清 ( <http://www.fengfeeldesign.org> )

PAPER: ウーベケーネス - ブラック -1070×800mm ／ NPCC-L 判 T 目 #28

PRINTING TYPE: 合紙／加熱型押し／箔押し

PROCESSING PLACE: 有限会社 コスモテック ( [http://blog.livedoor.jp/cosmotech\\_no1/](http://blog.livedoor.jp/cosmotech_no1/) )

**\*1** - Robert Louis Stevenson (1905) "A Child' s Garden of Verses" illustrated by Jessie Willcox Smith, published by Charles Scribner' s Sons.

William J. Long (1919) "How Animals Talk: And Other Pleasant Studies of Birds and Beasts" illustrated by Charles Copeland, published by New York and London, Harper & brothers.

"The Home and School Reference Work, Volume I" by The Home and School Education Society, H. M. Dixon, President and Managing Editor (1917).